

3 (4) 年生になって

名前

○ 今の自分について考えてみましょう。

自分のよいところ・とくいなこと

学年始めに行う学級活動(3)「ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」で活用するシートの一例です。

好きなこと・むちゅうになっていること

自分の顔をかこう

新しい学年への前向きな気持ちで書けるよう支援します。なかなか書けない児童には、担任や友達が思うよいところを伝えるなどの支援をして、自己肯定感を高めます。

しょうらいのゆめ

好きなことや夢中になっていることの自覚が、将来の希望や夢をもつことにつながります。

○ こんな自分になりたい！

べん強のこと

→そのために

生活のこと

→そのために

- ・ 1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。
- ・ 目標は、朝の会等で見直す時間を持ちます。途中で必要に応じて目標を修正することも可能とします。

友だち(学級)のためにがんばりたいこと

集団のために自分に何ができるのかを考えることは、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成につながります。

○ メッセージ(友だち、先生、家の人などから)

地域や学校の実態に応じて温かなメッセージを記入します。

3（4）年生

記入日 月 日

1学期をふり返りましょう

名前

○ 目当てに向かってがんばったこと

べん強のこと

楽しかったことや
心にのこったこと

生活のこと

友だちのこと

- ・学期始めに記入した目当てカードを基に振り返りの時間を設けます。
- ・「できた・できない」だけでなく、できるようになるために行動した自分に気付かせることが大切です。がんばり続けていること等を認めながら、肯定的に捉えられるように支援します。
- ・児童が記入したことに寄り添ったコメントをするなど、自己肯定感や次への意欲を高められるようにします。

3（4）年生

記入日 月 日

2学期をふり返りましょう

名前

○ 目当てに向かってがんばったこと

べん強のこと

楽しかったことや
心にのこったこと

生活のこと

友だちのこと

3 (4) 年生
学習活動

記入日 月 日

名前

○ 活動内よう

中学年では、「1 / 2 成人式」や、社会科の学習での見学（消防署や警察署、伝統的な産業に携わる人々等）、総合的な学習の時間等で働く人々と関わる活動等、キャリア教育の年間指導計画に基づいて実践されている学習の中から1～2回記入する機会を設けます。

○ 自分の目当て

学習活動を児童の成長につながるものにするためには、事前指導が重要です。教師が児童に対して、どのような経験や成長を願っているのか、どのような意義のある学習なのかを丁寧に伝えてから記入する時間を設けます。

○ ふり返ろう

○ この学習で学んだことや心にのこったこと

児童自身が、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにどんな些細なことでも、分かったことを書き、成長として気付かせるようにします。その際、成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も自分の成長につながる貴重な体験であることを伝え、励まします。

○ これからの学習や生活に生かしていきたいこと

- ・ 児童が夢や希望、生き方を考えることができるように地域や学校の願いを反映させた温かなメッセージを贈ります。
- ・ 児童が書いた振り返りの文章に、教師がアンダーラインを引いたり、認め印を押したりすることも、児童一人一人の願いや思いを温かく受け止め、認めることにつながります。各学校で、児童との対話的な関わりについて検討し共通理解をしましょう。

○ メッセージ

3(4)年生
学校行じやしゅう会、かかりや当番活動

記入日 月 日

名前

○ 活動内容

- ・学級活動(3)「イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」等で活用します。
- ・当番や係活動、自分が進んでする仕事等を題材に、自分の役割を果たすことの意味や大切さについて考え、友達と協力して最後までやり遂げられるようにします。

○ 自分の目当て

○ 自分のやくわり

責任をもって自分の役割を果たすことや、友達と協力し、進んで活動することを意識付けることが大切です。

○ ふり返ろう

○ この学習で学んだことや心にのこったこと

- 児童自身が、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにどんな些細なことでも、分かったことを書き、成長として気付かせるようにします。その際、成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も自分の成長につながる貴重な体験であることを伝え、励まします。

○ これからの学習や生活に生かしていきたいこと

- ・児童が夢や希望、生き方を考えることができるように地域や学校の願いを反映させた温かなメッセージを贈ります。
- ・児童が書いた振り返りの文章に、教師がアンダーラインを引いたり、認め印を押したりすることも、児童一人一人の願いや思いを温かく受け止め、認めることにつながります。各学校で、児童との対話的な関わりについて検討し共通理解をしましょう。

○ メッセージ

3（4）年生

地域活動がんばりカード

名前

○ 1年間の地いきの活動

月	活動名	ふり返り
4	・ 町のおまつり	・ 町内の人と楽しく話をすることができた
		・ 学校内外の様々な場で、自分と地域との関わりに目を向けることができるようにします。地域との関わりや愛着を深めようとする取組を認め、励ますことによって、児童が、意欲的に地域の活動に参加していくように支援します。 ・ 学校全体または個人で参加した地域の活動について、月末や夏休み明けに、朝の会等を利用して振り返るようにします。

記入日 月 日

○ 自分が住んでいる地いきのよいところ・すきなところ

児童の地域に愛着を深め、関わりを深めようとする取組を認め、大いに励まします。

○ これから地いきのためにがんばりたいこと

○ 心にのこった地いきの活動や、お世話になった地域の人のがんばるすがたなど

地域との関わりを通して、キャリア教育のねらいにつなげます。

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度の形成
- 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得

3（4）年生

記入日 月 日

3（4）年生をふり返ろう

名前

○ 「なりたい自分」に近づくためにがんばったことやできるようになったことを書きましょう。

勉強のこと

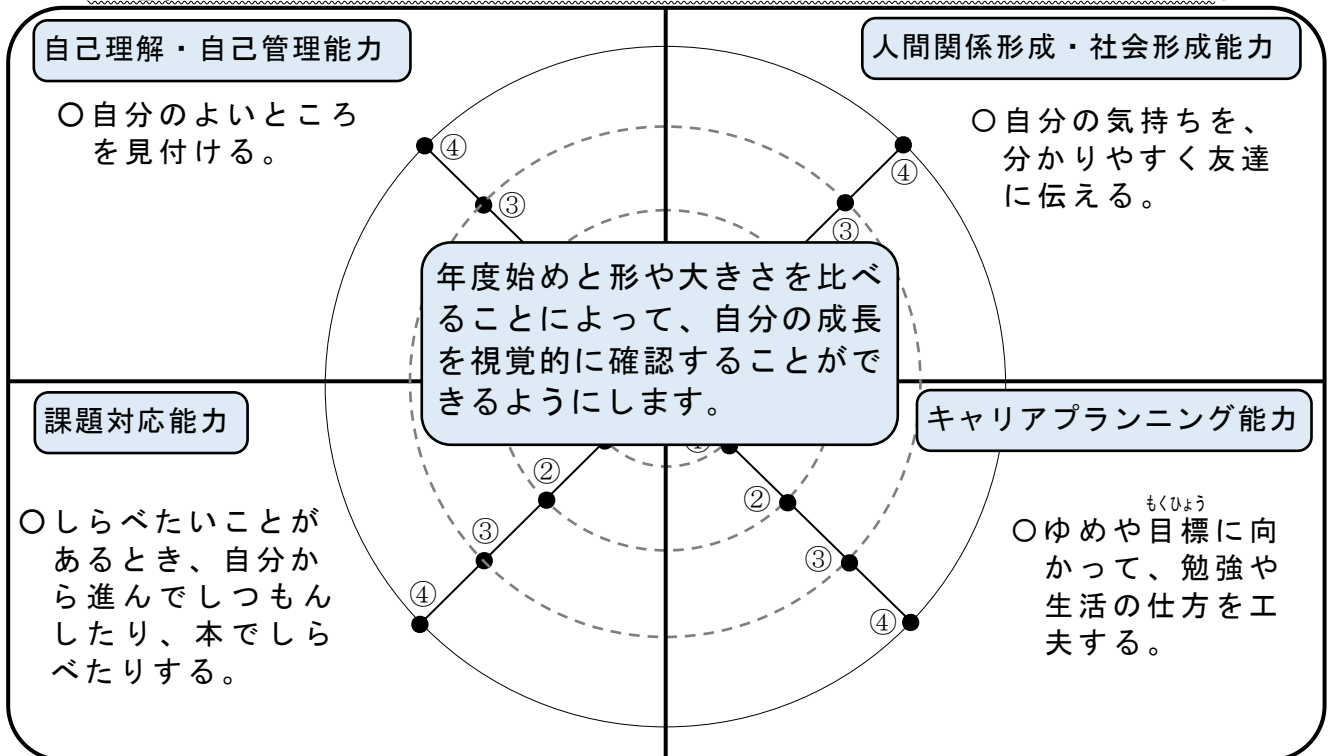
生活のこと

友達のこと

- ・ 学年末の学級活動（3）「ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」で扱います。年度始めに記入した項目や、これまでの学習、学校行事等の記録を基に成長を振り返る活動を設定します。
- ・ 以前と同じ内容が同じになる児童がいる場合は、がんばり続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援します。

○ 今の自分について考えてみましょう。

①：ほとんどできていない ②：あまりできていない ③：まあまあできている ④：かなりできている
点を線でつないで4月とくらべてみましょう。形は大きくなりましたか。



○ こんな3（4）年生になったよ！この1年間でふえた、自分のよいところ

どんな些細なことでも、できるようになったことを書かせ、成長として気付かせます。

3（4）年生でのたくさんの経験が、4（5）年生につながります。

こんな4（5）年生になりたいな！

学級活動（3）で扱います。進級は、大きく生活が変わる時期です。次の学年の学校生活や「なりたい自分」についてイメージできるように支援し、新しい学年への希望を膨らませられるように支援します。小さな目標でもよいことや具体的な目標になっていなくてもよいことを伝えます。

○ 1年間成長した自分へのメッセージ（友だち・先生・家の人などから）

※ふせんやカード等を交換して貼り付ける

- ・付箋やカード等を交換し合い、貼り付けてもよいことを伝えます。「友達のがんばっていたこと」等、相互評価を加え、互いのよさやがんばりに気付く機会となるようにします。
- ・他者からのメッセージを読み、自己肯定感を高めるとともに、記入したことを学級や学年で交流することにより、集団としての成長を確認することもできます。

○ しょうらいのゆめ（小学3（4）年生 月）

将来の夢や希望を考える場をもち、現時点での記録を残していくようにします。